



令和3年度 幸区地域デザイン会議

～川崎駅西口を中心とした地域資源を活用したまちの賑わい～

議 事 次 第

【日時】令和4年2月25日（金）16:00

【場所】「ステーションコンファレンス
川崎」会議室

1 開 会

2 区 長 挨 拶

3 出席者紹介

4 事務局からの説明

5 議 題「区制50周年を契機とした、川崎駅西口地域の魅力発信」

- (1) 参加事業者様からの説明
- (2) 意見交換

6 閉 会

(資料)

資料1 さいわいガイドマップ2021

資料2 さいわい広報特別号

資料3 地区カルテ(南河原地区)

資料4 配布資料(JR川崎駅様)

資料5-1～5-7 事業様説明資料

資料6 南河原小学校グループワーク資料



さいわい 広報特別号



①

小串嘉男さん撮影

JR川崎駅改札前



ミュージア川崎方面

②



所美美子さん提供

発展するまち 川崎駅西口 特集

③

JR川崎駅方面



所美美子さん提供



所美美子さん提供

ソリッドスクエア方面

④



※隣り合う写真の撮影場所は同じ位置でないものもあります

312作品の中から
幸区制50周年記念ロゴマークが決定!
約1万票の投票で
応募・投票へのご協力
ありがとうございました。
4面でロゴマークについて紹介をしています

チャレンジしてみよう

表紙の写真①～④は1956～2002年に撮影されました。あなたは古い順番に並び替えられますか?

【ヒント】
分からない人は中面に年代のヒントがあります。

正解は区HPで

4月に迎える区制50周年を記念し、1面では今と昔の写真、4面では50周年関連の記事を掲載しています。



川崎駅西口周辺のまちづくりの歴史

1980～1990年代後半

明治製糖や明治製菓の工場跡地の土地利用についてオフィス・研究開発施設への大規模な転換をしたほか、堀川町線や東西自由通路などの整備により、回遊性を強化しました。

▶1995年ソリッドスクエア方面



▲東芝研究所西口

～2010年代初頭

東芝の堀川町工場跡地の土地利用について大型商業施設、都市型住宅、オフィスなどの複合市街地への大規模な転換をしたほか、道路、駅前広場などの整備を行いました。



▲2004年東芝堀川町工場跡地

～2000年初頭

大宮町地区において、オフィス、音楽ホール、都市型住宅等の土地利用や道路、公園、歩行者デッキなどの整備を総合的に行いました。



▲建設中のミュージザ川崎

～現在

川崎駅西口に残る最後の大規模空き地であった場所に「KAWASAKI DELTA」が2021年にオープンしました。



▲KAWASAKI DELTA



多摩川

昔の様子 ～運河～

当時、堀川町に工場が多く集積した理由の1つとして、原料や製品の輸送に多摩川が利用されていたことが挙げられます。多摩川沿いには、レンガ造りの護岸壁が建設され、テルファーと呼ばれる移動式クレーンにより陸揚げされ、明治製糖の工場に運ばれていました。



▶南河原小学校記念誌より

多摩川見晴らし公園

多摩川見晴らし公園と隣接する船着き場ではその立地やポテンシャルを活かした社会実験が行われており、今後の活用方向性の検討が行われています。2020年にはコロナ禍におけるイベントのあり方や緑とオープンスペースにおける利活用の促進などをテーマにイベントが開催されました。



▲LOW MITSU PARK FES



南河原地区町内会連合会 中川 会長

数十年前まで川崎駅西口周辺は東芝の堀川町工場や柳町工場に挟まれた企業城下町という印象でしたが、昔から南河原地区は地元のお祭りなど、住民同士のつながりが強い地域でした。再開発以降、多様な施設の開業や交通の利便性の良さなどもあり、衣食住が整う住みやすいまちになり、また周辺の事業者から、地域活動の連携、地元のPRなどの協力を頂くことにより、より生活に密着した形の地域交流に変化しました。

ラーズナ川崎、ソリッドスクエア、産業振興会館周辺(堀川町)

昔の様子 ～工業都市～

現在のソリッドスクエアやラーズナ川崎プラザなどが位置する堀川町周辺は1906年の横浜精糖(後の明治製糖)の工業の操業が先駆けとなり、50年前の1970年代には明治精糖、明治製菓、東京芝浦電気などの多くの工場が集積していました。明治製菓の工場付近を通ると、そこで作られるお菓子の香りがしたそうです。



▲1989年明治製菓



▼東芝堀川工場に石炭を運ぶ様子

緑あるまち

川崎駅周辺は緑化推進重点地区であり、住民、企業、行政により、緑のあるまちづくりが進められています。



▲ソリッドスクエア橋



▲ラーズナ川崎プラザ

工場地帯であった堀川町周辺は、再開発により大型商業施設やオフィスビル等になりましたが、緑が感じられるまちとなっています。

賑わいのあるまち

ラーズナ川崎プラザのルーフ広場では多様な人が集い、つながる場として、住民・企業・行政などが様々な取組を行っています。



▼INTERNATIONAL STREET FESTIVAL KAWASAKI



三井不動産商業マネジメント(ラーズナ川崎プラザ) 平山 所長

ラーズナ川崎プラザは地域に根付いたインフラとして、家庭や職場以外の居心地の良いサードプレイスとなるよう、生活に選いや安心をお届けしています。例えば、ルーフ広場で地元町内会と行う夏祭りは、地域のコミュニティの場となり、他にも様々な団体と多様な取組を実施し、居心地の良い場所を提供しています。今後とも世代を超えて益々、地域で愛され続けられるような施設を目指していきます。

ミュージザ川崎の KAWASAKI DELTA 周辺(大宮町)

昔の街の様子 ～赤煉瓦倉庫～

現在のミュージザ川崎シンフォニーホールやKAWASAKI DELTAなどが位置する大宮町周辺は、50年前の1970年代には旧国鉄の川崎変電所や市営住宅などが建ち並んでいました。変電所として建設された川崎赤煉瓦倉庫は1999年に解体されるまで、川崎駅西口の特徴的な建物であり、市内最古の赤煉瓦倉庫として区民に親しまれていました。



▲1984年空中写真



▲旧国鉄川崎変電所(川崎赤煉瓦倉庫)

新たなまちの顔 [KAWASAKI DELTA]

KAWASAKI DELTAは2020年に先行開業したホテルメトロポリタン 川崎、翌年に開業したJR川崎タワー オフィス棟、JR川崎タワー 商業棟からなるビジネス・宿泊・商業機能を持つエリアです。



音楽のまち

2004年7月に開館したミュージザ川崎シンフォニーホールは、舞台を360度囲むヴァンヤード形式を採用し、客席との距離が近いのが特徴です。川崎市フランチャイズオーケストラの東京交響楽団から市民オーケストラ・合唱団等まで、幅広い音楽活動が行われています。



▲ミュージザ川崎シンフォニーホール

みどりと文化のある新たな風景

2023年春に「緑のまちづくり」「音楽や映像のまちづくり」を推進するエンターテインメントホール「グリーンアートシアター(仮称)」がオープン予定です。



▲イメージパース

特徴

- 地面だけでなく、建物の屋上や壁面を活用し、立体的な緑を配置
- 音楽を軸としたソフト事業の実施
- 駅から施設への安全でスムーズなアクセス



▲イベント利用イメージ

ホテルメトロポリタン 川崎は川崎の街の多様性や伝統(歴史)、立地などその長所を生かした空間づくりやサービスを提供しており、客室からのトレインビューは立地を生かした特徴の1つです。また、地域の連携を大切にしており、ミュージザ川崎やJR川崎駅が主催する地域イベントに参加するなど、周辺の事業者と連携し、川崎駅西口周辺の賑わいづくりを積極的に進めています。今後も地域に密着した身近な存在となるよう、取り組んでまいります。



ホテルメトロポリタン 川崎 金田 総支配人

川崎駅

川崎の玄関口

現在では、1日約16万人が利用する駅となり、川崎市の玄関口として役割を担っています。2018年には北口自由通路・北改札が供用開始となり、周辺施設へのアクセスの向上、かわさききたテラスのオープンなどにより、利便性が更に高まっています。



川崎駅は今年で開業150周年を迎えます。これまで川崎駅をご利用いただいた全てのお客さまへの感謝の気持ちを原動力に、地域の皆さまとともに進めた地域活動や駅イベント等を通じて、川崎の魅力発信や賑わいづくりに努めてまいりました。今後も親しみや愛着を感じていただける川崎駅であるため、地域の皆さまとともに川崎のサキ(未来)を創造し、盛り上げてまいります。



JR川崎駅 磯崎 駅長

昔の様子 ～150周年～

1872年に新橋～横浜で鉄道が開業した際に、川崎駅は3番目の駅として開業し、2022年には開業150周年を迎えます。JR南武線の前身である南武鉄道の当時、多摩川の砂利の運搬を目的として1927年に川崎～登戸で開通しました。

▶初代の川崎駅



高田小学校記念誌より

令和4年(2022年)4月から区制50周年イヤーを迎えます

幸区制50周年記念ロゴマークが決定しました!



「幸せの想いをつなぐまち 心のふるさとさいわい」をテーマに50周年記念のロゴ募集を行い、312作品の中から選考委員による選考、約1万票もの皆さまからの投票を経て、ロゴマークが決定しました。ロゴマークを作成したのは区内在住の宇佐美さん。4月から始まる区制50周年記念事業の様々な機会でごロゴマークを使用します。たくさんの応募・投票ありがとうございました。

作者の想い

幸区が春夏秋冬ずっと植物がきれいである自然豊かな街であることや、住み良さを表しました。夢見ヶ崎動物公園の動物や区の木・区の花も盛り込んでいます。

最終選考に残った作品



50周年を祝して記念懸垂幕を作成中!!



幸区の50周年を地域の皆さまと区と一緒に祝いするムードを高めるため、皆さまの手形を盛り込んだデザインで幸区制50周年をPRする懸垂幕を作成しています。



手形集めイベント

区役所や小学校、子ども文化センターで手形を集めるイベントを行い、子どもを始めとする約2,000人の方にご協力いただきました。



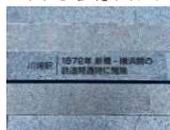
お披露目

3月頃に完成発表会を実施予定です。詳細は市政だより3月号やHPなどでお知らせします! 4月1日から1年間、区役所に掲示します(一部期間を除く)。

川崎駅西口周辺の歴史に触れられるスポット



① 川崎・多摩川タグ



市や多摩川の風景に纏わるキーフレーズが刻印されています

② 赤煉瓦倉庫オブジェ



川崎赤煉瓦倉庫の外壁を保存しオブジェとして復元されています。その他にも周辺施設には赤煉瓦のデザインが取り入れられています

③ 工場の消火用ポンプ



東京電気株式会社(後の東芝)の工場で使用されていた消火用ポンプがあります

④ 女衾神社



多摩川の氾濫から町を救うため1人の女性がその身を川に捧げて氾濫を鎮めました。その女性を祀る神社です

⑤ 工業都市川崎発祥の地



工業都市としてこの地の歴史が記されている記念プレートがあります

⑥ 旧明治製糖の護岸壁



旧明治製糖の荷揚げの跡に今も赤煉瓦造りの護岸壁が残っています